

日本郵政株式会社社長 西川善文 殿  
郵便事業株式会社社長 團 宏明 殿  
株式会社ゆうちょ銀行社長 高木祥吉 殿  
株式会社かんぽ生命社長 山下 泉 殿  
郵便局株式会社社長 寺阪元之 殿

2007年11月26日

日本共産党

参議院議員 山下よしき  
衆議院議員 こくた恵二  
衆議院議員 吉井 英勝  
元参議院議員 宮本たけし  
兵庫県常任委員 瀬戸 恵子  
国会議員団近畿ブロック事務所

## 国民のための「郵便・貯金・簡易保険」の郵政三事業の全国ネットワークを守り サービスの維持・充実を求める要望書

10月1日からスタートした「郵政分割・民営化」。民営化前に全世帯に配布された「〒10・1もうすぐ民営化」のパンフでは、最初に「民営化後も、郵便局でこれまでと同じように郵便・貯金・保険のサービスを提供します」とうたっています。しかし、簡易郵便局の閉鎖や局外ATMの撤去が相次ぐなどサービス低下に直面し、利用者から不安の声があがっています。

今年3月までに郵便事業の効率化と称し、郵便物を集配する全国4696局のうち1048局(うち近畿で94局)で集配業務が廃止されことにより、配達や貯金・保険の集金などが、これまでより遠くの郵便局に集約され、エリアの拡大にともない配達の遅れやお年寄りが楽しみにしている顔なじみの「郵便屋さん」が来なくなった困惑などの困惑が広がっています。これまで郵便局が、地域の方々と「顔と顔」でつながった濃密な信頼関係を培い、貯金・保険の集金も大切なふれあいの機会として維持されてきました。ところが、「三事業」一体が、分割により「壁」ができ「以前は配達員に貯金のお出し入れや小包の発送を依頼していたが、今はいっさいダメ」の声が示すように「郵便局の地域での存在意義」が薄れています。これは国民にとって大きな損失です。

ところが私たちがこの間調査したなかでも、明らかなサービス低下がおきています。一つは、民営化前から行われた、土・日・祝日などの時間外窓口の閉鎖です。前郵政公社の再編計画では、集配廃止局(近畿94局)と集配局(「配達センター」、近畿198局)に及んでおり、近畿の集配郵便局の62%にのぼります。集配業務を廃止したほとんどの地域で配達時間の遅れが出ています。象徴的なのは「午前11時頃までに配達されていた新聞・朝刊が、午後4時になることがある(和歌山・かつらぎ町花園、京都・舞鶴市加佐)」「夕方3時～5時の間にしかこない(和歌山・印南町切山)などの苦情がでています。不在郵便物の取り扱いでは、「再編統合された時苦情が殺到した(滋賀・八日市中野局地域)」「郵便事業会社(現在の大阪中央郵便局)が、来年5月に大淀の局舎に移転すると聞いている。北区や福島区のひとは大淀まで取りこいくことになる」「『電話してくれば、配達します』というが、電話がなかなかつながらないし、自分と好きなきに近くには不在郵便物があれば取りに行けた。遠くてなり取りに行くのに時間と電車賃がかかる(兵庫・西宮市塩瀬地域)などの多くの声があります。昨年公社は、私たちの「遅配」の指摘に対し、「その日のうちに配達されれば、サービス低下にあたらぬ」と回

答していましたが、「配達が遅い。特に、朝刊が夕刊時分の配達は困る」「不便になった」という声が多く、これらの声にこたえることが「サービスの低下はない」ということではないでしょうか。

また、金融サービスにおいても、簡易郵便局の一時閉鎖近畿で19局(10月1日現在、全国417局)、07年～08年のATM撤去対象箇所が近畿で12カ所(全国131カ所)あり、和歌山・かつらぎ町の花園地域では地域土曜・日曜に利用出来る唯一のATMがなくなると、地域あげて利用数を増やす取り組みをしてまで、過疎地域での金融サービス施設を守ろうとしています。

国会の附帯決議で「現行水準が維持され、万が一にも国民の利便に支障が生じないよう、万全を期すること」と条件をつけ、竹中平蔵担当大臣(当時)は「ネットワーク全体として価値がある。そのなかで集配特定局は大変重要な地位を占める」と答弁しています。しかし、実際に民営化がスタートし、国民が心配をしている「郵政事業の国民的ネットワークが維持されるのか」「金融のユニバーサルサービスが確保されるのか」はこの答弁に照らしてどうでしょうか。

郵便局ほど私たちの暮らしに身近なものはありません。私たち日本共産党は、国民のための「郵便・貯金・簡易保険」の郵政三事業の全国ネットワークと住民サービスの維持・拡充を求め、下記のとおり申し入れます。

## 記

### 1、郵政事業の全国ネットワークを維持し、地域の実状に合わせた、従前どおりのきめ細かいサービスを続けていくこと。サービス低下の指摘があるところは利用者の要望を聞き、サービスを復活し充実させること

◇とくに①土曜・日曜の窓口の復活を求める

②「その日のうちに配達されれば、サービス低下にはあたらない」という姿勢はあらため。郵便物の遅配の解消を求める。とりわけ、新聞朝刊の従来どおり午前中に配達するような体制を考えられたい

③不在郵便物を無集配局・集配局等(簡易郵便局)の区別なく、利用者にとって希望する便利な近くの郵便局で受け取れるように工夫されたい

### 2、金融サービスが全国の郵便局であまねく公平に提供されるために、金融のユニバーサルサービスを維持されたい

◇金融過疎地を出さないため、地域の状況・公共性等を考え、機械的な利用件数だけの判断でATMを撤去することのないようにされたい。また、利用者・設置者の声を聞き廃止された個所の復活を求める

◇ひとりの外務職員が郵便、貯金、保険の3事業すべての仕事をこなす「総合担務」と同レベルのサービスを復活できるよう努められたい

### 3、郵政三事業の全国ネットワーク網を担う簡易郵便局を存続のために

◇委託料の引き上げや新たな施設費等への補助など検討されたい

◇

### 4、集配業務再編の最中、今年はじめ「年賀状が遅い」との苦情が相次いだといわれました。「元旦に届く年賀状から新年がはじまる」という、この国民的な文化をまもるため、配達日がずれ込まない

ように万全の体制をとられたい

- 5、郵政の職場に関して、大阪中央郵便局の郵便局会社に職員の休憩所がない、神戸中央郵便局の仮眠室の縮小されて困っているとの声があります。職員の意見を聞き改善されたい

以上